

外部評価報告書

平成30年度 明正幼稚園 外部評価報告書
外部評価委員：谷島 豊、押田 まり子、河野 祥多、福井 緑、柏木 良子 報告書作成者：副園長 田原 雅代
評価時期 平成31年 2月
1 重点目標の評価 (1) 重点目標1 「心身ともに健康な幼児の育成」について 幼児が進んで体を動かしたり、自然との関わりを促したりするために、教師が環境構成や指導の工夫に取り組んでいることが伺え、重点目標の達成につながっていると考えられる。特に、体を動かすための環境構成については、限られたスペースの中で遊具や用具等を組み合わせたり、生かしたりしており、今後も継続して充実させてほしい。 基本的な生活習慣の定着については、家庭が担う部分も大きく、家庭教育の大切さがある。今後も家庭と連携しながら進め、一層の充実に期待する。 (2) 重点目標2 「意欲的に遊びや生活に関わる幼児の育成」について これまでの外部評価委員会において、幼稚園が年間を通して様々な活動や行事が計画的に取り組んでいることを理解している。入園当初、一人ではまだ身の回りのことができない幼児が多くいるが、園生活を通して大きく成長する姿を見ると、幼稚園の教育のよさ、教師の頑張りを感ずき、評価に値する。今後、教育活動のさらなる充実を期待する。 (3) 重点目標3 「保護者への教育内容の理解の促進」について 少数であるが改善の声がある。様々な意見を出すことがアンケートの意義、目的であることを踏まえ、少数の意見に耳を傾けながらも、実施している教育内容に自信をもって進めることを望む。 教育活動の園児数が増える中で保護者が幼稚園との関係を良好に保つために、園とのコミュニケーションの充実に努め、保護者にとって子供の育ちについて伝えやすい、相談しやすい雰囲気づくりを努めることを期待する。
2 今後の改善に向けた意見 <ul style="list-style-type: none">・幼稚園の教育活動やそれを展開するための教師の取組が、より広く、また深く理解してもらうために、ホームページをはじめとする情報発信の充実と工夫が必要である。・家庭と幼稚園が協力、連携して子供の育ちを促すとともに、保護者にとって幼稚園とコミュニケーションを取り易い雰囲気づくりの充実に期待する。
3 その他の意見 <ul style="list-style-type: none">・働き方改革が話題になる中で、教員の働き方についても度々ニュースで取り上げられている。教員の日々の取組は十分理解しているので、保護者や地域の力を活用しながら教育活動を進め、少しでも教員の負担、勤務時間の軽減につながることを望む。